

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第447号 平成22年3月



『冬のホテルにて』 西成田 進

## 目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	6) 青梅市立総合病院外来診察分担表	広報部 … 12
2) 連載企画		公立福生病院外来診療担当医表	
森と湖の国の歴史	桑子行正 … 3	公立阿伎留医療センター外来部門診療担当医表	
突然頭に一撃が走った	神尾重則 … 4	7) 西多摩三師会市民公開講座	大塚邦明 … 16
3) 伝言板	広報部 … 7	8) 理事会報告	広報部 … 17
4) 広報だより		9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 23
特別養護老人ホームにおける医療の問題点		10) あとがき	西成田 進 … 24
	宮下吉弘 … 9	11) お知らせ	事務局 … 25
5) 専門医に学ぶ	藤澤 一 … 10	12) 表紙のことば	會澤義之 … 26

## 感染症だより

### 〈全数報告〉

第3週(1/18-1/24)から第6週(2/8-2/14)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 10件 (肺結核6件、肺外結核1件、疑似症1件、無症状病原体保有者2件)

### 〈管内の定点からの報告〉

	3週	4週	5週	6週
	1.18 ~ 1.24	1.25 ~ 1.31	2.1 ~ 2.7	2.8 ~ 2.14
RSウイルス感染症	3	1	2	4
インフルエンザ	70	47	13	24
咽頭結膜熱				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	2	5	3
感染性胃腸炎	88	74	71	42
水痘	1	4	2	3
手足口病				1
伝染性紅斑	1	1		
突発性発しん	3	1	2	
百日咳				
ヘルパンギーナ				
流行性耳下腺炎	2	13	6	13
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	185	143	101	90

基幹定点報告対象疾病

〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎（オウムを除く）、成人麻疹〉  
報告はありませんでした。

### 〈コメント〉

#### ① インフルエンザの発生報告が減少していますが、引き続き注意が必要です

管内のインフルエンザ定点医療機関からの報告数は第6週で定点当たり2.67人で、東京都は2.64人、全国は2.81人です。

第5週は管内1.44人、東京都3.43人、全国4.26人でした。東京都、全国が減少する中で、管内は第6週で増加しています。国内の新型インフルエンザの流行は、現状ではおおむね減少傾向を示しているものと判断されますが、まだ各地域における散発的な流行は存在しています。また、今シーズンは感染症法施行（1999年）以来、最大の報告数となっています。

都内の定点医療機関から第5週に東京都健康安全センターに54検体搬入され、29検体がインフルエンザウイルス陽性となりました。29検体は全て新型インフルエンザウイルス（AH1pdm）でした。全国状況を見ると、2009年53週～2010年4週の5週間では、AH1pdmが36都道府県から1,124件、B型（山形系統株）が滋賀県から1件、B型（ビクトリア系統株）が和歌山県から2件報告されています。

引き続き、季節性も含めたインフルエンザの発生動向には注意が必要と思われる。

#### ② 感染性胃腸炎の発生報告は減少していますが、引き続き注意が必要です。

管内の定点医療機関からの報告数は第6週で定点当たり8.40人で、東京都は12.2人です。4週連続で減少していますが、管内では学校や施設での集団感染例もまだ散発していますので、引き続き注意が必要です。

2009年51週～2010年5週までに都内の定点医療機関から感染性胃腸炎の臨床診断名で61検体が搬入されています。検出された病原体はノロウイルス21件、アデノウイルス8件、ライノウイルス6件、エンテロウイルス3件、RSウイルス2件、ロタウイルス1件、その他のウイルス1件、カンピロバクター2件でした。

（文責：西多摩保健所保健対策課）

## 森と湖の国の歴史

あきる野市 ゆき皮膚科クリニック 桑子 行正

4年に1度の冬のスポーツの祭典が、カナダのバンクーバーで行なわれた。カナダと言えば、カナディアン・ロッキー、ナイアガラの滝、「赤毛のアン」など豊かな大自然の「森と湖の国」として日本人にもおなじみだが、そのようなイメージが先行して、イメージと実像のギャップが理解されていないのもカナダの特徴ではないだろうか。ましてやカナダの歴史となると高等学校の教科書にも登場しませんから、マイナーと言うしかありません。そのマイナーな歴史についてオリンピックを機に少し調べてみたいと思います。

カナダの先住民族は、インディアン、メイティ、イヌイトの三つに大きく分けられます。メイティとはインディアン女性と白人男性の血を引く人々で、イヌイトはヌナヴト準州など極北部に住む先住民族です。その先住民族の地にヨーロッパ人が最初に訪れたのは、史料の上ではバイキングだったといわれています。西暦千年頃リーフ・エリクソンが「ヴィンランド」を発見してから、バイキングは14世紀まで活動を続けます。さらに大航海時代がはじまると、タラを求めてニューファンドランドの漁場にヨーロッパ人が集まりますが、カナダの地は操業できる季節だけ一時的に住む基地にすぎませんでした。移民が住みだすのは、17世紀前半にフランスの植民地がつけられたころからです。今のケベックの地にフランスの植民地ヌヴェル・フランスができたのは1608年のことでした。

ヌヴェル・フランスが整備されたころイギリスも今のアメリカ合衆国及び北西にハドソン湾会社という国王公認の会社をつくり、その植民地の範囲はヌヴェル・フランスをとり囲むようになっていました。ヨーロッパでの英仏抗争は新大陸にも及びついに戦争に発展

しました。この争いにピリオドを打ったのが、フレンチ・アンド・インディアン戦争でした。イギリス軍はフランス軍をケベックのアブラハム平原の戦いで破り、翌年にはモントリオールも陥落し、ヌヴェル・フランスはイギリスの支配下に置かれたのです。ここから現在のケベックの独立運動というフランス系住民の抵抗運動が始まったとも言える。なお「カナダ」という地名は先住民族の言葉で集落をさす「カナタ」から今のケベック・シティー帯を「カナダ」と16世紀のフランス系住民が名付けたことに由来します。

ではイギリスの植民地からカナダが独立したのはいつなのでしょう。独立というとなりのアメリカ合衆国の独立戦争による独立を考えてしまいますが、カナダの場合はそう簡単ではありません。第1にあげられるのは1867年7月1日で、イギリスの法律でイギリス領北アメリカ法が発効された日です。この法律により4州からなるカナダ自治領（ドミニオン・オブ・カナダ）が誕生しました。ちなみにドミニオンとは旧約聖書からの引用で「まつりごと（ドミニオン）が海から海まで、大河から地のはてまでおよびますように。」からとられたもので、大西洋岸の4州から始まって現在の10の州と3つの準州に至るまで約80年の歳月を要した。しかし1867年にできたカナダ自治領はまだ独立国家とは言えません。なぜならば外交交渉権もなく、司法の最終決定権もなく、さらに独自の憲法を改正する権利もありませんでした。しかし1867年7月1日は近代国家カナダのはじまりと考えられ、毎年7月1日は「カナダデー」といって、カナダ国民が「ハッピー・バースデー・カナダ」と呼んでお祝いをするのです。

では外交面での自立はいつの事だったのでしょうか。1931年のイギリス議会のウェストミンスター憲章によってカナダ・オーストラリアなどの自治領がイギリスと対等な関係を結んだ日が有力です。1931年は第1次世界大戦と第2次世界大戦のあいだの時期で、第1次世界大戦では43万人がイギリスのために海外に派兵され、約6万人が亡くなりました。こうした戦争の犠牲を払いながらイギリス帝国での発言権を高めていったのです。

次に司法の独立はどうだったのでしょうか。カナダ自治領に設けられた最高裁判所は、最終審ではなく、さらに上級のイギリスの枢密院司法委員会に委ねられていました。それが文字どおり最高裁判所になったのは、1949年のことでした。

最後に立法ですが、中でも憲法に関しては、カナダ自治領の憲法は1867年に制定された

イギリス領北アメリカ法でした。これはイギリス議会在が決めた法律で、これを改正する権限がカナダ側に少しずつ認められていったが、重要な部分はイギリス議会の議決が必要でした。カナダが独自に改正できるようになったのは1982年のことで、私が医師になったよりも後のことでした。このようにカナダは、イギリス・アメリカという大国との関係を損なわないように少しずつ独立の道を歩んでいったのです。

現在はアメリカという超大国と強い関係を持ちながらも、中国をアメリカに先んじて承認したり、「オタワ・プロセス」交渉方式で対人地雷全面禁止条約をまとめあげるなどアメリカ一辺倒のどこかの国とは違う外国間外交を展開しているのは興味深い。資源が豊かであるカナダは今後とも「森と湖」を壊さず発展していくのだろう。



## 突然頭に一撃が走った

～ 雪埋没からの生還記～

日の出町 落合クリニック 神尾 重則

### 山に潜む危険

外科の手術は虫垂炎に始まり虫垂炎に終わるといわれる。炎症の少ない虫垂炎は基本的手技で容易に処理できるが、炎症が高度となると難易度の高い手術となり、あらゆる手術手技が試されるケースが少なくないからだ。

同様に、富士山であれアルプスであれ、夏と冬、晴天無風と暴風雪といった自然条件によって、登山の難易度には雲泥の差が生じてくる。とりわけ雪山では、あらゆる経験と技術が試される状況が出現し、応用力が命を左右することも稀ではない。パーティーの構成メンバーの力量によっても左右されるだろう。

非日常の空間には予想を超えた危険が潜んでいるのである。

片山右京さんのチームが富士山で遭難した翌日。新宿から白馬に向かうバスの車窓から望む富士は、何事もなかったかのように白く秀麗な姿を見せていた。不帰の客となったメンバーの一人とは旧知であり、夢半ばで幽冥境を異にする無念さを思いながら、非情な富士を眺めていた。中央高速からみる富士は、纏わりつく雲一つなく、山頂からは螺旋の雪煙が舞っていた。

この日、北アの八方尾根では、都岳連が主催する初心者のための安全登山教室が開催さ

れた。山の医学についての講義をするために私も参加していた。二日前まで雪はほとんどなかったという兎平の上部。一気に2m近い新雪で厚化粧をほどこし、雪はさらに深々と降り続いていた。ここでは、三種の神器(ビーコン、ゾンデ、スコップ)を用いた訓練や埋没体験などが行われた。八方池山荘に上がって宿泊の予定であったが、雪崩の危険があることから、宿は白馬山麓に変更された。

「雪崩に埋没したときの生死の分水嶺は15分といわれます。デブリに埋没した時間経過と生存率の検討からは、このゴールデンタイムで救出された人のほとんどは生存しています。死亡例は致命的外傷によるものです。内部にできる呼吸空間—天使のエアポケット—があれば生存時間は延びますが、長時間では低体温症が漸次進行してゆきます」夜に予定されている講義ではそんな話をするつもりでした。



黎明の鹿島槍

### このままでは危ないな

テレマークで下山した私は、スキーを担ぎながら六花の舞う白馬の街路を、宿に向けて歩いていた。すると突然に、左の頭頸部にドンという一撃が走った。不意に強い衝撃に襲われたのである。咄嗟には何が起きたのか全く判らなかつた。暴漢に襲われたのか？ それとも心血管系のアタックに襲われたのか？ 一驚を喫する瞬時の間に、「バットで殴られ

たような頭の痛みは、くも膜下出血に特徴的」という教科書のフレーズを思い出していた。「もう一発、頭にきたら終わりだな、頭を守らなくては」と思いながら、防御態勢をとろうとするが叶わない。頭に続いて膝をへし曲げるような重圧を下腿に感じていた。スローモーションのように倒れてゆく自らの身体が、ぼんやりとした意識の中で映し出された。

やがて、辺りは煙霞に覆われて視界が利かなくなった。聞こえていたような気がする瀑とした音は遠くなり、静寂に包まれた。事態をのみ込むことが出来ぬまま、異変に身を任せるのみで、なす術はなかつた。

一瞬、意識を失っていたようだ。一撃を喰らってから、崩れてきた雪に埋れたことを感知するまでは、随分とタイムラグがあった。体を動かそうとするが、金縛りに遭ったようで身動き一つできなかつた。肉体的な恐怖感ではなかつたが、「このままでは危ないな」と漠然と感じていた。

ほどなく、駆けつけてくれたメンバーの声が聞こえてきた。強烈な打撃を食らって埋れていた頭部の雪を掻き分けてくれたのである。口や鼻を塞いで窒息するような状況は免れ、すぐに思考と視界も開けてきた。しかし、自力で這い出すことは到底不可能であった。雪に埋もれた四肢を掘り起こしてもらい、抱きかかえながら起き上がった。そこで漸く事態の顛末を理解した。歩いていた道路は完全に雪で塞がれ、見上げると1m近くつもっていた屋根の雪はすっかり滑り落ちていたのである。

### トリッキーな操作

よくいわれる走馬灯のようなライフレビューはなかつた。瞬間的に危機的な状況を察知し認識する暇がなかつたのかも知れな

(6)

い。それでも、ゆっくりとした時間が流れるように感じたのは、自分の脳内の時間意識が自動的に操作された結果だろう。時間意識は脳内現象であるからトリッキーな操作が行われても不思議はない。それはパフォーマンスの向上という自己防衛に繋がる反応なのに違いない。脳にある140億といわれる脳細胞は、複雑な回路を作り、神経伝達物質を介したネットワークを形成している。危機的な状況（事故や病死）で、記憶のリピー現象が起こるのは、混乱に陥った脳のネットワークが作り出す幻影とも考えられる。

それにしても、山で実際に雪崩に巻き込まれたら、エスケープのためのどんな対処が可能というのだろうか。あの凄まじい圧力と衝撃、そしてフリーズしてしまった体をレビューするとき、自らの力で打開できるチャンスは限られていることを思い知る。埋まるも浮かぶも、全ては神の思し召し、インシャラーの世界。講義では「ダメと思っても諦めずにあがくこと、泳ぐようにして本流から逃れること」を強調してみたものの、浮かび上がるための「天使の翼」や呼吸空間を確保する「天使のエアポケット」を持つことは、神が降りてこなければ叶うことではあるまい。アクションをとる余裕のある状況が与えられたとすれば、それは天使の微笑み。微笑み返しを八百万回してもまだ足りないだろう。

### 最善のカードを選び出す

山の中ではなく、麓の商店街で雪崩に遭った間抜けな講師は笑いもの。それでも笑い話ですんだから幸いである。埋もれたときに覚悟した膝の損傷や骨折は大丈夫であった。この夜に開かれた山の医学の講義もどうにかこなせたことから、脳へのダメージもさほどではなかったようだ。

翌日は再び雪山に入ることができた。危機的な状況から脱出したあとに抱く、よりよく



朝の白馬三山

生きようとする感情は、多くの人にとって自然に生まれてくるものようだ。まっさらで道のない雪原をスキーで歩きながら、詩人の金子みすずさんの「つもった雪」というタイトルの作品を思い出していた。

上の雪、さむかろな。つめたい月がさして  
いて/ 下の雪、重かろな。何百人ものせて  
いて/ 中の雪、さみしかろな。空も地面（じ  
べた）もみえないで/

まさに雪が金子さんで、金子さんが雪であるような詩である。自然と自分とのあいだに生まれてくる一体感は雪山の魅力の一つであろう。しかし、けっして雪崩に埋れてはなるまい。

上を向いて歩こう♪♪ 屋根雪崩という想定外のアクシデントに見舞われたものとしては、坂本九の歌のタイトルほど「予防のための処方箋」を的確に提示しているものはない。懐かしい歌を口ずさみながら（笑）、皆さんも気をつけて。

最悪の状況の中に置かれたとき、最善のカードを選び出し、生還へのシナリオを描けるか否かの分水嶺は、当事者の責任と資質と経験、そして天使の微笑みに懸かっている。臨床医が患者を、登山家が自らを犠牲にして証明してきたように。

# 伝言板

## ① 市民公開講座『脳卒中と認知症』

日 時：平成 22 年 3 月 11 日（木） 午後 6:00 開演（午後 5:30 開場）  
場 所：秋川キララホール（入場無料 定員 600 名）

### 第一部 脳卒中

- ① 脳卒中の診断（20 分）…… 公立阿伎留医療センター脳神経外科部長  
伊藤 宣行 先生
- ② 脳卒中の治療（20 分）…… 公立福生病院脳神経外科部長  
小山 英樹 先生
- ③ 脳卒中の予防（20 分）…… 青梅市立総合病院神経内科部長  
高橋 真冬 先生

### 第二部 認知症－介護で悩んでいる方へ

「認知症の人を支えるために－地域の役割」（80 分）

講師：認知症介護研究・研修東京センター

センター長 本間 昭 先生

## ② 第 8 回西多摩医師会臨床報告会のご案内

日 時：平成 22 年 3 月 16 日（火） 午後 7 時 30 分から  
開催場所：公立福生病院 多目的ホール

演 題：

- 1) 「部分的な改善を認めた慢性期脳血管障害患者の一症例」  
青梅今井病院 大森竜一先生他
- 2) 「内痔核治療における ALTA 注硬化療法」  
津田クリニック 津田倫樹先生
- 3) 「RS3PE 症候群を疑った 5 症例の臨床像について」  
公立阿伎留医療センター 押田和美先生、西成田 進先生
- 4) 「突発性難聴に対する高気圧酸素療法」  
青梅市立総合病院 山口 恵先生他
- 5) 「小児虐待症例の早期発見」  
公立福生病院 五月女友美子先生

## ③ 第 8 回 市民フォーラム

日 時：平成 22 年 3 月 26 日（金） 受付 18 時 / 開演 18 時 30 分～ 21 時  
場 所：羽村市生涯学習センターゆとろぎ

小ホール 定員 250 席（無料自由席） 先着順

演 題：

第一部 小児救急医療の実態

都立清瀬小児病院 内科部長 横山 哲夫 先生

第二部 こんな時、どうしたら？

Case I 「脳梗塞後遺症」の家族を抱えて

青梅市立総合病院 神経内科部長 高橋 真冬 先生

Case II 「認知症」の家族を抱えて

医療法人社団三秀会 青梅三慶病院 理事長 三浦 剛士 先生

第三部 現場からの提言

日頃、現場で相談業務に携わっている「専門職」の方々による提言

問い合わせ：社団法人 西多摩医師会事務局

0428 (23) 2171 土日祝を除く、平日 16 時まで

## ④ 西多摩医師会定時総会のお知らせ

日 時：平成 22 年 3 月 26 日（金）午後 7：30～

場 所：フォレストイン昭和館

講 演：講師 公立福生病院眼科医長 津村 豊明先生

演題 「涙管鏡の応用」

## ⑤ 市民健康講座

西多摩糖尿病医療連携検討会

### 『糖尿病にならないために、糖尿病になってしまったら』

日 時：平成 22 年 3 月 27 日（土）午後 2 時～4 時

場 所：羽村市コミュニティセンター

演 題：

第 1 部 ミニレクチャー (2:05～3:20)

司会 西多摩医師会理事 野本 正嗣

① 「糖尿病専門医が伝えたいこと」(2:05～2:20)

高村内科クリニック（福生市）院長 高村 宏 先生

② 「眼科専門医が伝えたいこと」(2:20～2:35)

かごしま眼科（青梅市）院長 鹿児島武志 先生

③ 「腎臓専門医が伝えたいこと」(2:35～2:50)

青梅市立総合病院 血液浄化センター部長 木本成昭 先生

④ 「心臓専門医が伝えたいこと」(2:50～3:05)

青梅市立総合病院 心臓カテーテル室長 清水茂雄 先生

⑤ 「歯科医師が伝えたいこと」(3:05～3:20)

西多摩歯科医師会 会長 岩永克美 先生

第 2 部 「質問にお答えします」(3:30～3:55)

回答者 上記 5 名の専門医＋管理栄養士 1 名（高村内科クリニック）



## 広報だより



## 特別養護老人ホームにおける医療の問題点

青梅市 沢井診療所 宮下 吉弘

西多摩地区には、多くの特別養護老人ホーム（特養）が存在し、医師会員の中にも診療に携わったり、自ら経営をされている方も多いと思います。平成12年の介護保険導入後、特養における医療業務の範囲は拡大し、医療必要度の高い入所者が増加しています。

平成3年の研修医の頃より、特養の非常勤嘱託医として勤めはじめ、その後、大学の医局に在籍していたときも、数年間勤務を継続していました。この頃は、職務の中心は入所者の診療・健康管理でしたが、その後、介護保険が導入され、社会情勢の変化もあり、仕事の内容が多岐にわたるようになりました。具体的には、主治医意見書などの書類の作成・予防注射の実施・ターミナルケアへの関わり・インフルエンザやノロウイルスなど集団感染を起こす疾病に対する対策・産業医としての職員の健康診断結果の説明・労働安全委員会など会議への参加などが挙げられます。時間的制約のある勤務のなかで、入所者の診療と並行して行うのは厳しいものとなっています。

特養は待機者が多く、要介護度の高い人が優先されることになっています。介護度の高い人が集中的に入所していくことになると、それだけ医療の必要性も増加します。特養の定義は、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養の世話をを行うことを目的とする施設であり、医療を提供する場所ではありません。保険請求可能な項目は厳しく制限されており、人的資源の不足やコスト財源の問題からも医療を手厚くすることは困難な状況にあります。このため、特養の医療機能は非常に弱い状態が続いています。このような状態にも

かわらず、それなりの医療に対する要望が入所者やその家族にはあります。

入所者の病状が悪化した場合は、病院への外来受診、入院が必要となる場合も多く、職員への負担や入院先の確保が、しばしば問題となります。医療必要度の高い入所者の増加により現実的に対応しうる医療と、必要または期待されている医療とのギャップは、今後は、ますます拡大していくと思われます。

印南一路による「社会的入院の研究」では、次のようなことが述べられています。「高齢者の医療とケアの理念から考えると、高齢者に対しては QOL の維持・回復や生活重視の観点から、複数の専門業種がチームとなり、医療と介護の総合的ケアを提供することが重要となる。しかし、この観点から見ると、現在の医療施設・介護施設は、高齢患者の QOL 維持・回復を第一義的に考えた医療とケアを提供する施設としては不十分である。その解決策として、医療介護複合施設が挙げられる。そのイメージとして適切なものは、ユニット型の特養に、急性期になれない一般病床が持つ医療機能を備えた施設であろう。医療機能も生活機能も備えた施設でマンパワーも今よりも充足しているものである。」

臨床医である鈴木厚も「安全保障としての医療と介護」のなかで同様なことを述べています。「病気に対する医療保険、介護に対する介護保険があっても、老人を見守る福祉の視点が欠けています。医療、介護、福祉を一体として、ひとりの老人を連携して見守る制度が必要です」

介護保険と医療保険との間とのひずみが、特養における医療の問題として表出しているのではないのでしょうか。

# 専門医に学ぶ 第62回

## 問題

【症例】21歳 女性

【主訴】発熱、肉眼的血尿

【既往歴】特記事項なし

【家族歴】腎疾患なし

【現病歴】平成21年5月学校健診で初めて検尿異常（尿潜血、尿蛋白陽性）を指摘され5月26日当科紹介受診となった。初診時検尿にて dysmorphic な血尿を認めるものの蛋白尿陰性であったため、外来経過観察となった。

同年10月16日、咽頭痛、39度を超える発熱が出現すると同時に尿が赤くなったため、当院内科外来受診した。

【身体所見】体温 38.9度。両扁桃腫大あり、白苔あり。下腿浮腫なし。皮疹なし。

【検査所見】BUN 14.4mg/dl、Cre 1.05mg/dl、alb 4.1mg/dl

血清補体価（CH 50）62U/ml（正常値 30-45）、IgA 310mg/dl（正常値 90-400）

抗核抗体 40未満、抗 Sm 抗体陰性、抗 ds-DNA 抗体陰性

検尿所見：比重 1.007、pH 6.5、白血球（-）、蛋白（+）、糖（-）、潜血（3+）

沈渣：RBC > 100/HPF、WBC 1-4/HPF、硝子円柱（+）、赤血球情報 dysmorphic

蓄尿検査：1日尿蛋白 0.38g/日

【臨床経過①】発熱の原因は急性扁桃炎と診断され、抗生剤による治療が開始された。

患者さんは肉眼的血尿に不安を覚え、その原因の精査を希望した。

問題1. 考えうる疾患は何か？

問題2. 行うことが望ましい検査は何か？

問題3. 治療法は何か？

## 解答と解説

青梅市立総合病院 腎臓内科 医長 藤澤 一

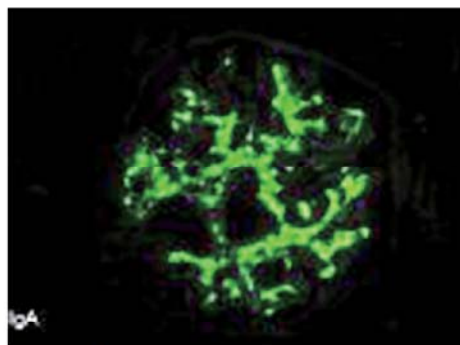
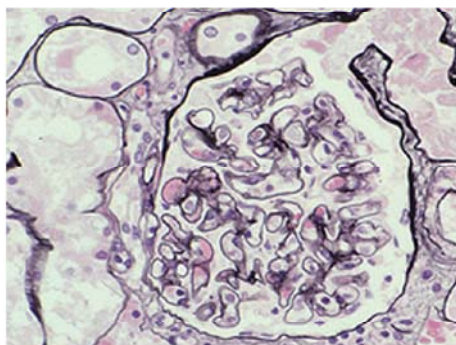
問題1. 急性扁桃炎を契機に肉眼的血尿を認めており、IgA腎症が最も考えられます。

本邦では学校や職場検診などで検尿異常を指摘され無症候性で発見される例が大多数。

IgA腎症は、1968年フランスの病理学者 J.Bergerにより「糸球体メサンギウム領域にIgA-IgGを主体とした顆粒状沈着物を特徴とする糸球体腎炎」として初めて報告されました。本邦においては、慢性糸球体腎炎の成人では30%以上、小児では20%以上を占める疾患とされています。日本以外にもフランスその他の南欧諸国や、アジア太平洋地域の諸国に多発するとされ、北欧・北米では比較的少ないといわれており、人種的要因が想定されています。日本では小児・成人と

もに男性のほうが多く、小児では10歳代、成人では20歳代で発見されることが多いようです。また、予後は良好であるといわれていましたが、1993年日本、フランスより報告された本症の20年腎予後は、その38%前後が末期腎不全に至るという悪いものでした。成因としては、流血中のIgAを主体とする免疫複合体の糸球体内沈着により引き起こされ、扁桃腺などの感染が重要な働きをしていると考えられていますが、完全には明らかになっていません。

**問題2. 腎生検。IgA腎症の確定診断は腎生検によってなされます。**



(社団法人 日本病理学会ホームページより)

IgA腎症の病理所見：PAS染色陽性、Masson染色で赤染し、PAM染色にて基底膜直下に位置する傍メサンギウム沈着物が特徴的であり、半球状沈着物 (hemisphere nodule) と、呼んでいます。組織像は多彩で、WHO分類の一次性糸球体病変のすべてをとりえ、免疫染色により、糸球体の傍メサンギウム領域にIgA優勢のびまん性沈着を認める点が診断根拠となります。他にIgG、IgM、C3も沈着していることが多いとされます。電子顕微鏡像において傍メサンギウム領域に電子密度の高い沈着物が確認され、これも診断根拠となります。

**問題3. 2002年IgA腎症診療指針（第2版）が、厚生省特定疾患進行性腎障害に関する調査研究班 IgA腎症分科会により行われた調査に基づき刊行されました。**生検の光学顕微鏡所見により、「予後良好」「予後比較的良好」「予後比較的不良」「予後不良」の4群にわけ治療方針が示されています。症例に即した生活規制、血圧管理、抗血小板薬、ARB/ACEI 投与を基本とします。PSL投与に関しては、これまで多くの議論がなされてきましたが、一般的には生検所見で糸球体硬化が軽度で、活動性が主体である症例において、0.5g/日以上蛋白尿があり、比較的腎機能の保たれた (Ccr 70ml/min以上) 場合が良い適応とされています。また、近年、扁桃腺摘出術+ステロイドパルス療法を行うことでIgA腎症を寛解させようという治療が注目されています。現在、日本の多くの施設で行われ、良い成績が報告されています。発症より時間の経過していない症例のほうが完解率が高いとされており、腎炎が疑われる患者さん（検尿異常のある患者さん）は腎臓内科へ紹介していただければと思います。

### 【臨床経過②】

入院第3病日、経皮的腎生検を施行した。第9病日退院。

腎生検結果：IgA腎症 比較的予後良好群に相当する結果であった。外来にて、御本人・御家族に上記内容を説明し、扁桃腺摘出術+ステロイドパルス療法を施行することとなった。

## 広報部

## 青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成22年2月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
新患担当	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	
総合内科	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	交代で(午前)	
血液内科	熊谷(午前)	梅沢(午前)		中村(午前)	熊谷(午前)	
内分泌糖尿病内科	関口(午前)	三宅(午前)	三宅(午前)	浜田(午前)	関口(午前)	
	関口・三宅(午後)	三宅	関口(午前)	浜田・宮本(午前)	関口	
腎臓内科	栗山(午前)	木本	佐藤	藤沢(午前)	木本(午前)	
神経内科	高橋 $\alpha$ (午後)	原(午後)	原(午後)	高橋 $\alpha$ (午後)	田中(午後)	
	高橋 $\alpha$ (午前)	原	仁科(午前)	高橋 $\alpha$ (午前)	田中(午前)	
呼吸器内科	磯貝(午後)	高野(午後)・須原(午後)	高崎(午後)・土田(午後)	杉浦(午後)・山内(午後)	磯貝(午後)・本田(午後)	
	磯貝・高崎(午前)	高野・須原	高崎・土田	杉浦・山内	磯貝・本田	
消化器内科	中條・国井	野口・細井	横田	河合	三浦	
			浜野(午前)・並木(午前)	野口	細井	
循環器内科	清水(夜)・稲村	大友・白井・木田	小野・高木	栗原・坂本	鈴木紅・鈴木麻	
リウマチ科	長坂	山崎(午前)	長坂		長坂(午後)	
外科	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
	吉田・永吉(午前) ・杉崎(午後)	正木(午前)・杉崎(午前) ・吉澤(午前)	青木(午前)・山崎(午前)	正木(午前)・杉崎(午前) ・根元(午前)	青木(午前)・松倉(午前) ・中田(午後)	
心臓血管外科	大島(午後)		大島(午後)			
呼吸器外科			白井(午後)			
脳神経外科	高田(午前)		高田(午前)	久保田(午前)	山本(午前)／芳村(午前)	
整形外科	当番医(午前)	川崎(午前)・平川(午前) ・中川(午前)	岡本(午前)・川崎(午前) ・斎藤(午前)	当番医(午前)	岡本(午前)・平川(午前) ・中川(午前)	
産婦人科 婦人一般	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
	婦人予約	篠原	小野	小坂・古賀	中筋	
	妊婦健診	中筋(午前)	古賀(午前)	当番医(午前)	依光(午前)	篠原(午前)
	助産師外来	当番助産師	当番助産師	当番助産師	当番助産師	当番助産師
皮膚科	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
	馬場(午前)・新井(午前)	馬場(午前)・新井(午前)	馬場(午前)	馬場(午前)・新井(午前)	新井(午前)	
泌尿器科	友石(午前)	足立(午前)	友石(午前)	友石(午前)	当番医(午前)	
		友石(午後)			友石(午後)	
小児科	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
	当番医(午後)	当番医(午後)	林(午後)・当番医(午後)	横山(午後) ・当番医(午後)	当番医(午後)	
眼科	森(午前)・秋山(午前)	森(午前)・秋山(午前)	当番医(午前)	森(午前)・秋山(午前)	森(午前)・秋山(午前)	
耳鼻いんこう科	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
		角(午前)・山口(夜) ・西尾(午前)		角(午前)・山口(夜) ・西尾(午前)	角(午前)・山口(夜) ・西尾(午前)	
精神科 新患予約	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	当番医(午前)	
	再来予約	塩江・児玉・田村	篠原・玉井	塩江・児玉	篠原・田村	
放射線科		当番医				
リハビリテーション科		原田(午前)		原田		
口腔外科	黒川(午前)	黒川(午前)	佐藤(午前)・日向(午前)	黒川(午前)	黒川(午前)	
	黒川	黒川	黒川・佐藤・日向・地原	黒川	黒川	

※ 網掛けは、当日予約の受付が可能な診察です。当日予約の受付は、午前11時30分までです。(ただし、数人の場合もあります。)

# 公立福生病院 外来診療担当医表

平成22年2月

曜日 診療科目	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
内科	診	勝又(康) [膠原病]	呼吸器 田中	岩田	肝臓外来 奥山	岡田 [神経内科]	神経内科 栗原	旭	神経内科 柴木	高橋	呼吸器 後藤
	診	岩田		妻神 [消化器]	膠原病 小橋川	妻神 [消化器]	神経内科 岡田	満尾	糖尿病外来 島内	荒田 (再診)	消化管外来 鈴木
	診	岡本 [消化器]		北森		三宅	糖尿病外来 吉内	高橋 (再診)	肝臓外来 妻神	石田 [血液内科]	
	診	布施		山上		小林	膠原病 三宅	島内 [糖尿病]		岡本 [消化器]	
	診	鈴木 [消化器]		鈴木 [消化器]			腎臓外来 小林	布施		後藤	
	診			小橋川 [膠原病]							
精神科	診										原 (1・2・3・4週)
循環器内科	診	満尾		高橋	荒田	荒田		織		満尾	満尾
	診				森島 (予約検査)						ベニエ (第1・3金曜日)
小児科	診	河野	小児慢性疾患 松山 (休診1時30分～4時) 内分泌代謝 上原 (休診1時30分～4時)	五月女(友)	小児慢性疾患(暫) 上原(1・2・3・5週) (休診1時30分～4時)	遠海	予防接種 清水 (休診3時30分～5時) 小児慢性疾患 清水 (休診3時30分～5時)	上原	心臓外来 第3週(3時～)	松山	乳児検診
	診								乳児検診 (6・9ヶ月)		小児神経外来 3週(2時～4時)
	診						内分泌代謝外来 樋口(2時) (休診3時30分～5時)				
外科	診	諸角		宮崎		諸角		仲丸	乳癌外来 五月女(患)	吉川	
	診	当日担当医		長谷川		五月女(患)		当日担当医	予約外来 森岡	当日担当医	
	診					甲斐 [乳腺]					
整形外科	1診 (初診)	柴崎	加藤(和)or柴崎 (注射・処方)	吉田	予約検査	川端	手術日	加藤(和)	予約検査	藤巻	手術日
	2診 (再診)	加藤(和)	手術日	藤巻	柴崎 (注射・処方)	当日担当医	手術日	柴崎	加藤(和) (注射・処方)	吉田	吉田 (注射・処方)
	3診 (再診)	藤巻		川端				川端		柴崎 10:30～診療	
脳神経外科	診	小山		布施(孝)	不随意運動外来 大平 (休診1・3週)	安部		小山	手術日	齋藤	物忘れ等外来 後藤
	診										
皮膚科	診	塩入	予約外来	塩入	予約外来	長島 (初診)	予約外来	塩入	予約外来	塩入	予約外来
	診	白石		白石	予約外来	当日担当医		白石	予約外来	白石	予約外来
	診	茂野	予約外来								
泌尿器科	診 (初診)	吉峰	予約検査	藤田	手術日	藤田	予約検査	当日担当医	手術日	吉峰	予約検査
	診 (再診)	吉峰	小児泌尿器科外来 川村 (休診1時～4時)	名出	手術日	吉峰	予約検査	当日担当医	手術日	藤田	予約検査
産婦人科	初診	清水		菅原	手術日	田中	精密検査	岩佐		唐澤	手術日
	産科 診	田中	菅原	清水	手術日	唐澤	田中	菅原	唐澤	清水	産後健診
	婦人科 診	菅原	清水	唐澤	手術日	清水	精密検査	田中	岩佐	菅原	手術日
眼科	診	津村		山村		津村	FAG(第3週) 予約検査	津村		秋山	
	診	秋山		手術日	手術日	秋山		秋山		山村	
耳鼻咽喉科	診	兒玉	松田 (2時～4時)	松田	守田 (2時～4時)	兒玉	唐帆 (2時～4時)	兒玉	山内 (2時～4時)	兒玉	
ペインクリニック	診			勝又(徳)						針谷	
検診	診	大久保		井上		大荷				太田	
歯科口腔外科	診	馬越		馬越		馬越		馬越		馬越	
	診	須賀		須賀		須賀		須賀		須賀	

※受付時間 AM8:30分～AM11:30分まで  
PM1:00～診療科によって異なりますのでご確認ください。【下線表示＝女性医師】

【完全予約制】  
医療連携室

# 公立阿伎留医療センター 外来部門診療担当医表

平成22年2月1日

		月	火	水	木	金	土
内科	10-1 午前	西成田 進	西成田 進	荒川泰行(検診・肝)	山上 賢治	西成田 進	休 診
	Bブロック 午後				柳田和弘(DM毎1.3週)		
	10-2 午前		足立 拓也		足立 拓也	青木 正紀	
	午後						
	10-3 午前	小林 駿	小林 駿	矢嶋真弓(消化器)	小林 駿	川島志布子	
	午後						
	10-5 午前	中村 由紀	天木秀一(消化器)	川島志布子	西成田 進(検診)	中村 由紀	
	午後						
	10-6 午前	荒川泰行(検診・肝)	小野 真一	西成田 進(リウマチ)	森 一博		
	午後						
	11-1 午前	北森要一郎	塚越 正樹	北森要一郎	鬼田 敬洋	井口 森智	
	午後		江本 浩(循)	鬼田 敬洋(第2・4)			
	11-2 午前	塚越 正樹	小川克彦(神経内科)	井口 森智	熊澤 文雄	塚越 正樹	
	午後		第2・第4				
	11-3 午前	山上 賢治	金子 菜穂		金子 菜穂		
午後	山上 賢治(禁煙外来)		戸澤育文(緩和ケア外来)				
11-5 午前	小林 雅史	小林 雅史	村上 純子	蓬田 茂(腎)			
午後					早川 純子		
救急科		雅楽川 聡		小松 智英	雅楽川 聡		
		小松 智英	雅楽川 聡	小松 智英	小松 智英		
血液透析		仲野谷祐嗣	朝岡 博	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤安男	
人間ドック			西成田 進				
小児科	午前	森本 繁夫	森本 繁夫	中川万樹生	森本 繁夫		
Aブロック		中川万樹生	中川万樹生	岩本 孝夫	中川万樹生	岩本 孝夫	
	午後	救患のみ対応				救患のみ対応	
			専門外来(慢性疾患)				
			乳児検診(予約)	予防接種(予約)	予防接種(予約)		
外科	1 午前	矢嶋 幸浩	矢嶋 幸浩	松尾 定憲	平野 智寛	矢嶋 幸浩	
Aブロック	2	浅井 陽	阿部 英雄	後藤 浩之(形成)	仁科有美子	阿部英雄(第1を除く)	
	3			平野 智寛	柴田 昌彦	浅井 陽(小児外科)	
	4						
	午後		矢嶋(腫瘍専門外来)午後2~4時	矢嶋(CVポート挿入外来)毎第3			
			乳がん検診(午後1時~2時)				
整形外科		小野 秀樹	沼口 俊平	小野 秀樹	小野 秀樹	小野 秀樹	
Cブロック		山田 賢鎬	山田 賢鎬	沼口 俊平	山田 賢鎬	沼口 俊平	
			若林 健				
脳神経外科	午前	伊藤 宣行	笹森 寛生	前村 栄治	伊藤 宣行	池田 俊貴	
Cブロック	午後				池田 俊貴(物忘れ)		
皮膚科	午前	何川 宇啓	何川 宇啓	何川 宇啓	何川 宇啓	井上 桐子	
Dブロック		井上 桐子	井上 桐子	井上 桐子	井上 桐子	佐藤 典子	
	(午後2時~)		何川(2・3)・井上(1・4)			佐藤 典子	
泌尿器科	1 午前	佐藤 安男	朝岡 博	仲野谷祐嗣	仲野谷祐嗣	岡田 清己(専門)	
Cブロック	2	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤 安男	朝岡 博	朝岡 博	
	午後	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	予約検査	
産婦人科	Eブロック						
婦人科と初診		大山 俊雄	松本 公一	吉村 理	大山 俊雄	松本(第2・4)吉村(第1・3)	
産科と妊婦健診		吉村 理	大山 俊雄	松本 公一	吉村 理	大山(第2・4)松本(第1・3)	
眼 科		松木奈央子	松木奈央子	松木奈央子	山口 靖子	五月女典久	
Dブロック		井之川宗右	國田 大輔(1・2・4)		松木奈央子(手術)		
					高橋 清喜(手術)		
		予約検査	手 術	予約検査	予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科	1 午前	山村 一彦	大畑 敦	山村 一彦(2・3・4)	田中 是	山村 一彦	
Dブロック		田原 篤					
麻酔科	午前		清水 健次		坂本 英明		
Eブロック							
緩和ケア相談	午後	戸澤育文(午後2時~)				戸澤育文(午後2時~)	
歯科口腔外科		荻野 靖人	荻野 靖人	荻野 靖人	荻野 靖人	荻野 靖人	
Eブロック(午前・午後)		山田 幸			山下 千穂		

## 内科外来・検査担当医表

平成 22 年 2 月 1 日

		月	火	水	木	金	土	
内科 10-1	午前	西成田 進	西成田 進	荒川泰行(検診・肝)	山上 賢治	西成田 進	休 診	
Bブロック	午後				柳田和弘(DM毎1.3週)			
10-2	午前		足立 拓也		足立 拓也	青木 正紀		
	午後							
10-3	午前	小林 駿	小林 駿	矢嶋真弓(消化器)	小林 駿	川島志布子		
	午後							
10-5	午前	中村 由紀	天木秀一(消化器)	川島志布子	西成田 進(検診)	中村 由紀		
	午後							
10-6	午前	荒川泰行(検診・肝)	小野 真一	西成田 進(リウマチ)	森 一博			
	午後							
11-1	午前	北森要一郎	塚越 正樹	北森要一郎	鬼田 敬洋	井口 森智		
	午後		江本 浩(循)	鬼田 敬洋(毎第2・4)				
11-2	午前	塚越 正樹	小川克彦(神経内科)	井口 森智	熊澤 文雄	塚越 正樹		
	午後		第2・第4					
11-3	午前	山上 賢治	金子 菜穂		金子 菜穂			
	午後	山上 賢治(禁煙外来)		戸澤育文(緩和ケア外来)				
11-5	午前	小林 雅史	小林 雅史	村上 純子	蓬田 茂(腎)			
	午後					早川 純子		
緩和ケア相談	午後	戸澤育文(午後2時～)						戸澤育文(午後2時～)
救急科		雅楽川 聡		小松 智英	雅楽川 聡	雅楽川 聡		
		小松 智英	雅楽川 聡		小松 智英	小松 智英		
M D L		技 師	技 師	技 師	技 師	技 師		
胃カメラ			田原邦朗	小林 駿	中里 圭宏	矢嶋 真弓		
大腸・ERCP		小林 駿・中村由紀	小林 駿・中村由紀	西田 茂・小林 駿	小林 駿・中村由紀			
		川島志布子	川島志布子	川島志布子				
腹部エコー	午前	川島志布子	江上・川島・栗田	小林 駿・栗田榮子	中村由紀・栗田榮子	中村 由紀		
	午後			矢嶋 真弓		矢嶋 真弓		
心エコー			玉城哲雄(第3週)		鬼田 敬洋			
トレッドミル					鬼田 敬洋			
ホルター心電図					鬼田 敬洋			
血液透析		仲野谷祐嗣	朝岡 博	朝岡 博	仲野谷祐嗣	佐藤安男		
放射線治療		大西 洋 (午前)				荒屋 正幸 (午前)		
		医師の都合により曜日の変更あり(確認の必要あり)						
人間ドック				西成田 進				
研究日								

## 外科診療担当医表

外科 午前	1	矢嶋 幸浩	矢嶋 幸浩	松尾 定憲	平野 智寛	矢嶋 幸浩	休 診
Aブロック	2	浅井 陽	阿部 英雄	後藤 浩之(形成)	仁科有美子	阿部 英雄(第1を除く)	
	3			平野 智寛	柴田 昌彦	浅井 陽(小児外科)	
	4						
乳癌検診			平野 智寛				
13時～14時			仁科有美子				
超音波		阿部 英雄	検査技師			平野 智寛	
乳腺エコー		(11時30分～13時00分)	(14時00分～16時00分)			(11時30分～13時30分)	
腫瘍専門外来			矢嶋 幸浩				
14時～16時							
CVポート挿入外来				矢嶋 幸浩			
14時～15時				毎週第3水曜日			
病棟		阿部 英雄	平野 智寛	矢嶋 幸浩	阿部 英雄	平野 智寛	
		仁科有美子	仁科有美子	浅井 陽	浅井 陽	仁科有美子	
				仁科有美子			

## 西多摩三師会市民公開講座開催

平成22年2月20日(土)午後1時30分より羽村市コミュニティセンターにおいて、三師会市民公開講座「病気になるための時間医学」が開催されました。講師は東京女子医科大学東医療センター 院長 大塚邦明先生。この領域の第1人者です。体内時計の謎、6つの時計遺伝子の働き、病気との関わりについて一般市民にわかりやすくご講演をいただきました。来場者も100人を越え盛況でした。健康に生きるコツ、子供は「早寝、早起き」成人は「早起き、早寝」だそうです。ご講演の抄録をいただきましたので紹介させていただきます。(文責：野本正嗣)

### 病気になるための時間医学

東京女子医科大学 東医療センター 病院長/内科教授

大塚 邦明



#### 病気になるために知っておきたい未病

今、「未病」が注目されています。未だ病気ではないものの、そのまま放っておくとやがて、本物の病気になってしまう状態のことを言います。そのひとつがメタボリック症候群です。メタボリック症候群とは、肥満があり、血液中のコレステロールや中性脂肪、あるいは血糖が少し高めで、血圧も正常よりは少し高い場合のことを言います。いずれも、病気と言うほど異常ではないのですが、そのまま放置しておくと、心筋梗塞や脳卒中で死亡する確率が3倍以上にもなります。それゆえ、健康を維持するためには、未病について知っておくことが大切です。

#### 体内時計と健康

最近、この「未病」の原因が、生体リズムの乱れにあることが明らかにされてきました。乱れた生活リズムを繰り返していると、身体のリズムが壊れ、やがて病気になります。ごく最近、科学の目から、身体のリズム(医学的には、生体リズムと言います)の乱れが、生活習慣病やガンの原因であることが、明ら

かにされたのです。分子生物学の立場から、生体リズム研究が急速に進歩し、身体のリズムは、時計遺伝子がリズムカルに振動することによって、つくられていることが明らかにされました。生体リズムをつくる時計遺伝子には、6つのファミリーがありますが、21世紀のはじめ、そのうち1つでも、遺伝子異常が発現しますと、それがもとで生体リズムが乱れ、ヒトは肥満、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病などを発症し、また骨粗しょう症にもなりやすく、発がんの頻度がますますが発見されたのです。

未病の原因が、生体リズムの乱れにあるのなら、健康を維持するためには、生体リズムについて識っておくことが必要です。生体リズムとは何かを探求する学問が、時間生物学です。時間生物学の知識を、医療に応用した学問が、時間医学です。この講義では、生命を操る体内時計の謎と魅力を紹介し、時間生物学と時間医学を知っておくことが、健康をまもるための秘訣であることを、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。



## 病気にならないために知っておきたい仮面病

仮面病という言葉を知ったことがあるでしょうか。健康診断を受け、検査が正常だったので安心だ、と思われる方が多いと思います。確かに、それは道理です。ところが最近、仮面高血圧や仮面うつ病など、検診や病院の検査ではみつからない病気が、予想外に多いことがわかってきました。私は2人に1人が、仮面病だと思っています。

病院などでの検査がたとえ正常で、健康だと診察されても、仕事中は高血圧となり、気分も抑うつになる場合などがそれに相当します。また、家庭で何等かのストレスがあれば、家庭にいるときだけ高血圧などの病状が出現します。仕事に出かける前には、これからの仕事ははじめに緊張するとか、嫌悪感がでるようなことがあると思いますが、このような場合にも、さまざまな病状が隠されているのです。あるいは、睡眠の質が十分ではなく、たとえばいびきが原因で、夜間だけ高血圧と言う人もいます。

通常の健康診断や、病院での検査だけでは、病気が仮面に隠されてしまって、見つからないことは、少なくありません。医師から、「検査結果は正常ですよ、健康ですよ」と、説明を受け、本人も健康だと思ってしまう。知らぬ間に動脈硬化が進行し、数年後あるい

は十数年後になって初めて、心臓肥大とか尿の異常とかが見つかることになります。あるいは、医師から健康だと言われたものですから、毎年受けなければいけないはずの、定期検診を受けない人も、でてくるかもしれません。その結果、ある日、突然、心臓病や脳梗塞、あるいは腎臓病、肝臓病などを患ってしまうことになるのです。病気にならないための医学の智慧を、ご自分で知っておくことが、大切な意味がここにあります。

2人に1人の頻度で、仮面病であるのなら、仮面に隠された病気を、早期に見つけだすためには、何をすれば良いのでしょうか。この講演ではそのことを、分かりやすく、解説して行きたいと思っています。

## リハビリからプリハビリへ

「リハビリ (rehabilitation)」とは、文字通り「機能 (ability)」を再びと言うことを意味します。しかし、脳卒中で一度失った手脚の機能を、取り戻すことは至難の技です。それよりも、「機能 (ability)」を「保つ (preserve)」ことの方が、格段に重要です。このことを演者は「プリハビリテーション (prehabilitation)」と呼んでいます。体内時計のことを知っておくことの大切さがここにあります。

## ● 理事会報告

★ Information ●

1月定例理事会

平成22年1月26日(火)

西多摩医師会館

[出席者：真鍋・横田・中野・鹿児島・川間・小机・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・渡辺・松原・足立]

### 【1】報告事項

1. 都医地区医師会長連絡協議会報告 (中野副会長)
2. 新年賀詞交歓会収支報告及び承認について (宮下理事)
3. 各部報告

- 総務部 12/24 レセプトオンライン請求講習会（田坂理事）  
 1/9 第3回東京都脳卒中地域連携パス合同会議（都庁）小机座長講演  
 1/14 第4回糖尿病医療連携検討会報告（野本理事）  
 （1/25 西多摩地域糖尿病医療連携のためのアンケート結果送付 457 先へ）  
 1/24 公立福生病院改築竣工祝賀会（会長、副会長出席）  
 学術部 2/3 「糖尿病と動脈硬化症」（青梅市立総合病院講堂）  
 京都府立医科大学教授 中村直登先生  
 2/18 「漢方薬ってどう使うの？～すぐに使える漢方薬～」(同上セミナー室)  
 帝京大学准教授 新見正則先生  
 病院部 3/26 開催の第8回市民フォーラム内容の概要について（伝言板に掲載）  
 1/26 上記市民フォーラム最終打合会議（松山理事出席）  
 2/2 都医救急担当、指定二次代表者合同連絡会（松山理事出席）  
 公衆衛生 1/19 東京都における新型インフルエンザワクチンの接種スケジュールについて  
 配信

#### 4. 地区会よりの報告（各地区理事）

- 青 梅 1/8（金）新年会、2/12（金）臨時総会、2/10 青梅市と懇親会、5月より青梅市  
 平日準夜間診療開始予定  
 福 生 1/20（水）新年会  
 羽 村 1/21（木）新年会  
 あきる野 なし  
 瑞 穂 1/19（火）医師会  
 日の出 なし

#### 5. その他報告

- 2/20（土）西多摩三師会市民健康講座の広報用パンフレット（別紙）  
 3/11（木）西多摩地域脳卒中医療連携市民公開講座広報用パンフ（別紙）  
 3/27（土）西多摩地域糖尿病医療連携市民健康講座広報用パンフ（別紙）

## 【2】報告承認事項

### 1. 入会会員について —— 承認 ——

B会員：公立福生病院3名、高沢病院1名、日の出ヶ丘病院1名  
 公立阿伎留医療センター1名

### 2. 平成22年度福生市立小中学校医（内科、耳鼻科、眼科）の選任について —— 承認 ——

学 校 名	内 科	耳 鼻 科	眼 科
福生市立第一小学校	山口 太平	宮城 真理	波多野晶子
福生市立第二小学校	波多野元久	大野 芳裕	波多野晶子
福生市立第三小学校	渡邊 良友	大野 芳裕	波多野晶子
福生市立第四小学校	島井新一郎	宮城 真理	津村 豊明
福生市立第五小学校	平沢 龍登	宮城 真理	津村 豊明

福生市立第六小学校	小久保義和	宮城 真理	津村 豊明
福生市立第七小学校	桂川 敬太	宮城 真理	津村 豊明
福生市立第一中学校	西村 邦康	大野 芳裕	波多野晶子
福生市立第二中学校	青山 彰	宮城 真理	波多野晶子
福生市立第三中学校	津田 倫樹	宮城 真理	津村 豊明

### 3. 平成 22 年度羽村市公立学校医の推薦について — 承認 —

学校名	内科	眼科	耳鼻咽喉
羽村東小学校	柳田 和弘	真鍋 勉	込田 茂夫
羽村西小学校	関谷進一郎	真鍋 勉	古川 朋靖
富士見小学校	道佛 雅克	武藤 芳徳	込田 茂夫
栄小学校	小崎 有恒	真鍋 勉	古川 朋靖
松林小学校	塩澤 三朗	武藤 芳徳	込田 茂夫
小作台小学校	松田三樹雄	真鍋 勉	古川 朋靖
武蔵野小学校	滝浦 復平	武藤 芳徳	込田 茂夫
羽村第一中学校	奥村 充	真鍋 勉	古川 朋靖
羽村第二中学校	小林 重雄	武藤 芳徳	込田 茂夫
羽村第三中学校	山口賢一郎	武藤 芳徳	込田 茂夫

### 4. 平成 22 年度青梅市立小・中学校医の推薦について — 承認 —

#### 1. 小学校 17 校

学校名	学校医数	学校医名
第一小	1	笹本 隆夫
第二小	2	荒巻 武彦
		江本 浩
第三小	1	片平 潤一
第四小	1	川口 卓治
第五小	1	藤野 淡人
第六小	1	宮下 吉弘
第七小	1	堀田 洋夫
成木小	1	平岡 久樹
河辺小	1	坂元 龍
新町小	2	野本 正嗣
		大堀 洋一
霞台小	1	大山 高広
友田小	1	小澤 昌彦
今井小	1	唐橋 善雄
若草小	1	足立 卓三
藤橋小	1	百瀬真一郎
吹上小	1	小林 杏一
東 小	1	森本 晉

計 19

#### 2. 中学校 11 校

学校名	学校医数	学校医名
第一中	1	森本 晉
第二中	1	井上勇之助
第三中	1	鈴木 史朗
西 中	1	馬場 誠
第六中	1	堀田 洋夫
第七中	1	中林 敬一
霞台中	1	高野 竹生
吹上中	1	馬場 潤
新町中	1	石田 信彦
泉 中	1	吉野 住雄
東 中	(1)	(東小との兼務)
計	10	

## 3. 小学校 眼科、耳鼻科

学校名	担当	学校医数	学校医名
第一小	眼科	1	後藤 晋
第二小	眼科	1	三田 哲夫
第四小	耳鼻科	1	山田 英敬

## 5. 平成 22 年度あきる野市立小、中学校医の推薦について —— 承認 ——

内科医	東秋留小学校	櫻井 秀樹	秋多中学校	葉山 隆
	多西小学校	瀬戸岡俊一郎	東中学校	田中 克幸
	西秋留小学校	近藤 之暢	西中学校	奥村 徹
	屋城小学校	星野 誠	御堂中学校	朱膳寺洋文
	南秋留小学校	池谷 敏郎	増戸中学校	小机 敏昭
	草花小学校	伊藤 敬一	五日市中学校	小机 敏昭
	一の谷小学校	桑子 行正		
	前田小学校	下村 智		
	増戸小学校	佐野 茂男		
	五日市小学校	鈴木 道彦		
	戸倉小学校	小机 敏昭		
	小宮小学校	小机 敏昭		
眼科医	五日市小・中学校	野口 清美		
精神科医	市立小・中学校	植田 宏樹		

## 6. 平成 22 年度あきる野市立保育園嘱託医の推薦について —— 承認 ——

東秋留保育園	星野小児科内科クリニック	星野 誠
屋城保育園	奥野医院	奥野 仁
神明保育園	瀬戸岡医院	瀬戸岡俊一郎
すぎの子保育園	小机クリニック	小机 敏昭

## 【3】協議事項

## 1. 次期役員定数、告示日（理事、監事、医道審議会委員）について —— 承認 ——

## 2. 平成 22 年度学校医、予防接種及び各種健康診査医師報酬、委託料の協議結果について（川間理事）

## 3. 西多摩地区医療懇話会議題について

開催日時：22 年 2 月 6 日（土）羽村市「魚観荘」（当番幹事は行政側青梅市と檜原村）  
糖尿病医療連携事業についてコメント（野本理事）

## 4. 次年度事業計画提出について

新理事又は担当交代等予想されます。具体的に作成願います。

5. 読売新聞立川支局より、「よみうり多摩健康塾」の講演会を福生市民会館で開催計画、この講師紹介を依頼される — 承認 —

## 6. その他

- 生活保護法指定医療機関指導立会 2/16 (秋川病院) (中野副会長)
- 第2回定時総会前の講演会講師について (今回順番は公立福生病院)  
松山理事依頼済
- 多摩ブロック代議員連絡協議会 1/27 (立川パレスホテル) 会長、両副会長出席

## 2月定例理事会

平成22年2月9日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・横田・中野・鹿児島・川間・小机・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・渡辺・松原・足立〕

### 【1】報告事項

#### 1. 各部報告

- 総務部 2/6 「医療懇」報告
- 学術部 2/22 学術講演会「外来で出来る呼吸リハビリテーション」  
東京医科大学八王子医療センター呼吸器内科教授 一和多 俊男先生
- 産業医 1/20 西多摩地域産業保健センター事業に係わる一般競争参加資格審査に応募申請書提出
- 学校医 2/12 第25回西多摩学校保健連絡協議会 (あきる野市役所) pm13:30
- 広報部 2/19 100周年記念誌編集委員会
- 経理部会 2/22 収支予算案の検討

#### 2. 地区会よりの報告 (各地区理事)

- 青 梅 2/12 総会、3/6 ボーリング大会、3/28 ゴルフコンペ
- 福 生 2/17 総会 特定健診について
- 羽 村 2/9 地区会、3/5 総会
- あきる野 なし
- 瑞 穂 なし
- 日の出 2/8 医師会 地区長の交代、湯川先生→蓼沼先生へ

#### 3. その他報告

- 1/27 多摩ブロック代議員連絡協議会報告 (立川パレスホテル)

### 【2】報告承認事項

#### 1. 入会会員について — 承認 —

B会員：日の出ヶ丘病院1名

#### 2. 平成22年度福生市立小中学校医 (眼科) の選任について — 承認 —

## 3. 平成 22 年度日の出町立小、中学校医の推薦について ― 承認 ―

学校名	医師名
大久野小学校	進藤 晃
平井小学校	湯川 文朗
本宿小学校	篠原 秀隆
大久野中学校	蓼沼 翼
平井中学校	神尾 重則

## 4. 平成 22 年度日の出町立小、中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について ― 承認 ―

耳鼻咽喉科	清水耳鼻咽喉科クリニック	清水佐和道
眼 科	野口眼科医院	野口清美

## 5. 平成 22 年度奥多摩町立学校医の推薦について ― 承認 ―

医師名	学 校 名
川辺医院 川辺 隆道	氷川小学校 氷川中学校
古里診療所 皆川 俊一	古里小学校 古里中学校

## 6. 1) 平成 22 年度青梅市立友田小学校医の変更について ― 承認 ―

小澤昌彦会員を 土田大介会員に交代する

## 2) 平成 22 年度羽村市立小作台小学校医の変更について ― 承認 ―

松田三樹雄会員を 松田直樹会員に交代する

## 7. 平成 22 年度瑞穂町学校医・学校眼科医の推薦について ― 承認 ―

学 校 名	医師名
瑞穂第一小学校	栗原 教光
瑞穂第二小学校	丸野 仁久
瑞穂第三小学校	栗原 教光
瑞穂第四小学校	高水 松夫
瑞穂第五小学校	高水 松夫
瑞穂中学校	新井 敏彦
瑞穂第二中学校	小林 康弘

## 【3】協議事項

## 1. 平成 22 年度各部事業計画案について ― 承認 ―

## 2. 平成 21 年度第 2 回定時総会議題について ― 承認 ―

## 3. 平成 22 年度保険整備指導委員会委員の定数について（電子媒体、オンライン請求の普及に伴い） ― 承認 ―

総務部での検討結果（案）国保 5 名、社保 5 名（うち 1 名は再審査請求審査兼任）合計 10 名（青梅市 4（13）、あきる野市 2（8）、羽村市 2（7）、福生市 2（7）瑞穂町 0（2）、日の出町 0（2）（ ）内は今年度委員数

4. 平成 22 年度第 1 回定時総会日程、場所について ― 保留 ―  
5/27 (木) 又は 5/28 (金) フォレストイン昭和館

5. その他

## 会員通知

- 会報
  - 宿日直表 (青梅・福生・阿伎留)
  - 新型インフルエンザ接種スケジュール (健康成人)
  - 学術講演会 (2/22)
  - 訃報 (栗原三省先生)
  - パネルディスカッション2010「心不全の外來診療」症例回答のお願い
  - 薬価・点数早見表等の斡旋について
  - 新型インフルエンザ交換希望票の送付について
  - パネルディスカッションご案内 (3/2)
  - 告示 (西多摩医師会理事・監事・医道審議会委員)
  - 告示 (日本医師会代議員・予備代議員)
  - 第15回西多摩消化器疾患カンファレンス
- のご案内 (2/16)
  - 青梅市健康センター「平成20年度人間ドック成績」
  - 西多摩医師会市民公開講座「脳卒中と認知症」チラシ
  - 平成22年度診療報酬点数改正に伴う講習会開催要綱
  - 医療機関対象「平成21年度医療廃棄物適正処理研修会」
  - 平成21年度医療施設等設備整備費助成金交付申請の留意点
  - 東京消防庁救急相談センター救急相談者の追跡調査の実施について
  - 健康食品に関するアンケート
  - 「健康食品」情報共有シート綴り

## 医 師 会 の 動 き

医療機関数	214	病 院	30
		医院・診療所	184
会 員 数	518	A 会 員	204
		B 会 員	314

### 会議

2月6日	西多摩地区医療懇話会
9日	定例理事会
19日	100周年記念誌編集委員会
22日	経理部会
22日	会報編集委員会
23日	定例理事会

### 講演会・その他

1月3日	学術講演会
	演題：糖尿病初期治療の重要性
	講師：京都府立医科大学 内分泌・代謝内科学 教授 中村直登 先生
8日	保険指導整備委員会

17日	法律相談
18日	学術講演会
	演題：漢方薬ってどう使うの？ ～すぐに使える漢方薬～
	講師：帝京大学医学部外科学教室 准教授 新見正則 先生
20日	西多摩三師会市民健康講座
22日	学術講演会
	演題：外來で出来る呼吸リハビリ テーション
	講師：東京医科大学 八王子医療センター 呼吸器内科 教授 一和田俊男 先生

### 役員出張

2月2日	地域産業保健センターコーディネーター研修会
2日	東京都医師会救急担当理事・東京都指定二次医療機関代表者合同会議

## お知らせ

## 事務局より お知らせ

平成22年4月(3月診療分)の

保険請求書類提出**4月8日(木)**

— 正午迄です —

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 3月は10日(水)  
4月は14日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注)先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 訃報

瑞穂町箱根ヶ崎61  
栗原医院

**栗原 三省 先生**

大正4年1月22日生 享年95才



平成22年2月2日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

## 訃報

**高村香代子 様 (50歳)**

福生市福生767

(医社) 高村内科クリニック  
院長 高村 宏先生(奥様)

去る2月22日ご逝去されました。  
謹んでお悔やみ申し上げます。





## あ と が き



福生市医師会では保健センターで1月下旬から土曜の午後3時から3月6日まで5回に分けて新型インフルエンザの集団予防接種施行開始となりました。毎回医師4人で行う為1月30日に担当しました。昨年からずっと新型インフル騒ぎ?が続いているような気がします。都からの医療従事者用ワクチンの割り当てが1月になっても当クリニックには無く、整形という科の特性から後回しなのかと感じてしまいま

した。自分自身は心配になり、ついで1月24日日曜日午前に休日診療もしている横浜市の整形外科で自費で接種しました。そこは昨年10月下旬にはスタッフさん達も接種が済んでいて、同じ科でもエリアで随分差があるものと気持ちが萎えました。その足で午後2時に公立福生病院の落成式に出席して、市長を始め多くの来賓のお話を聞き、羽村・瑞穂・福生の3公立病院として連携医療のますますの発展・医療の充実に今度は期待で胸が膨らんだのでした。

會澤義之

社団法人 西多摩医師会

平成22年3月1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 鹿児島武志

宮下吉弘 近藤之暢 江本 浩 鈴木寿和 馬場眞澄

菊池 孝 桑子行正 會澤義之 土田大介 田村啓彦

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

## 健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……

**(株)武蔵臨床検査所**

食品と院内の環境を科学する

**F・S サービス**

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659